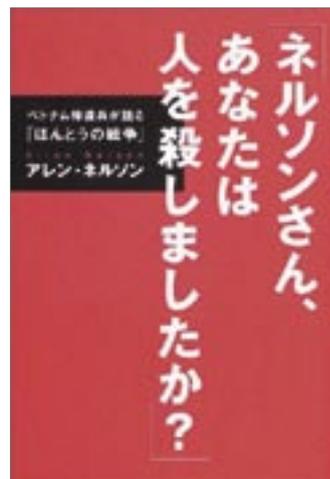




『西の魔女が死んだ』

梨木香歩／著
小学館

“西の魔女”とはまいの祖母のこと。中学校へ足が向かなくなったまいは、田舎の祖母の家で生活することになり、そこでの「魔女修行」が始まります。修行とは、何でも自分で決めるということでした。不登校の少女の癒されていく心を描いた作品です。



『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか?』

アレン・ネルソン／著
講談社

アレン・ネルソンは「本当の戦争」についてこう語る。「本当の戦争は無慈悲で残虐でおろかで、そして無意味だ」。18歳で向かったベトナムの地でネルソンが体験したのは、人を人と思わずに「殺す」ことでした…。戦争の真実を真っすぐに伝える一冊。



『バッテリー』全6巻

あさのあつこ／作 佐藤真紀子／絵
教育画劇

主人公の巧は小学生の頃から、あまりの剛速球ゆえ、キャッチャーを探すのに苦労するほどの天才ピッチャー。中学校に入学する直前、山間の地方都市に引っ越すことになり、そこで新しい野球仲間と出会います。少年たちの真剣勝負が印象的です。



『葉っぱのフレディ』

レオ・バスカーリア／作 島田光雄／絵
みらいなな／訳
童話屋

私たちはどこから来て、どこへ行くのでしょうか。生きていくこととは、死ぬこととは。人生って何？葉っぱのフレディといっしょに考えてみませんか。年齢を超えて、命の尊厳について考えさせられる本です。